



荒川区議会2月会議・予算特別委が開かれています

「一人の犠牲者も出さない」ために… 住宅耐震化、屋内安全対策100%を

屋内安全対策予算

2017年度	予算	感震ブレーカー・家具転倒防止合計 1118万円	
2016年度	予算	感震ブレーカー 1167万円	家具転倒防止 105万円

2016年度実績(2月現在)

申請件数 家具転倒防止 50件 感震ブレーカー151件
 助成金額 332万円 50%執行
 特例世帯(高齢、障害など)80%、一般20%

賃貸アパートは感震ブレーカー設置工事の対象外
 全世帯設置というなら制度の改善は緊急課題です。
 大地震へのハードソフト両面での備えは、区政のまさに一丁目一番地ともいえる課題です。
 とりわけ、毎議会ごとに住宅耐震化、屋内安全対策(家具転倒防止、感震ブレーカー設置など)の100%実施へ向けた議論を重ねてきました。結果区は、今年度全区民を対象にした助成事業をは

横山幸次

日本共産党荒川区議会議員団

区政報告
ニュース

646

2017年3月5日
 発行 日本共産党区議団
 3802-4627
 fax3806-9246
 E-mail arajcp@tcn-catv.ne.jp
 町屋相談室
 荒川区町屋5-3-5
 3895-0504
 E-mail yoko1951@aol.jp

横山幸次区議のホームページ・ブログ・ツイッターをご覧ください。横山幸次で検索して下さい。

屋内安全対策器具設置助成制度 各区分の(1)(2)のどちらか1回			
区分	感震ブレーカー等 感震ブレーカー等設置工事		
(1)		補助率	上限
	一般世帯	1/2	6万円
	特例世帯	5/6	10万円
(2)	感震ブレーカー等器具購入費 (工事不要タイプ)		
		補助率	上限
	一般世帯	1/2	5千円
特例世帯	10/10	1万円	
区分	家具転倒防止・ 落下防止器具		
(1)	家具類の転倒・落下防止器具 設置工事費		
		補助率	上限
	一般世帯	1/2	1万円
特例世帯	10/10	2万円	
(2)	家具類の転倒・落下防止器具 購入費(工事不要タイプ)		
		補助率	上限
	一般世帯	1/2	5千円
特例世帯	10/10	1万円	
特例世帯 65歳以上のみ世帯 心身障害者手帳所持者、要介護4以上いる世帯 世帯全員住民税非課税世帯			

同時に改善すべき問題も多く出ています。その一つが、感震ブレーカー設置工事に関しては、民間の賃貸アパート、都営住宅などは、対象外になっていることです(器具購入は対象です)。とりわけ、都営住宅は、高齢者、障害者が多数住んでいます。本来なら防災対策上大家である東京都が

きちんと全戸に設置すべきです。また、民間賃貸アパートにも高齢者等多くお住まいです。個人というより、大家さんへの助成も行って全戸で感震ブレーカーが設置する制度の検討も必要です。ほんとうに100%実施というなら制度の改善を行うべきです。



旧区立町屋保育園が町屋ふれあい館そばに移転(民設民営へ)してかなりの時間が過ぎました。一方、その跡地には、区が土地を貸して私立の友の季ひまわり幼稚園がこの4月に開園の運びとなりました。建物は、たいへん明るく、斬新な(私にとっては)工夫が凝らされているように感じました(写真)。この春、子どもたちのほじける笑顔であふれることでしょう。同時に、周辺のみなさんは、工事中の騒音や振動で迷惑をおかけしました。長年親しんだ町屋保



育園敷地内の桜などの樹木も全部ではありませんが何とか残すことができました。でも檸檬の木は、どうなったのかな? いずれにしても子育て支援施設は、保育園、幼稚園とも足りません。子どもたちの笑顔があふれる街にしていきたいものです
(横山幸次)

この春新しい私立幼稚園が町屋1丁目開設...
 かつての保育園は移転、周囲の樹木はどうなった

裏面 荒川区の図書館運営
 について...など

定例法律相談会
 3月6日(月)
 4月3日(月)
 午後6時~8時
 横山区議事務所

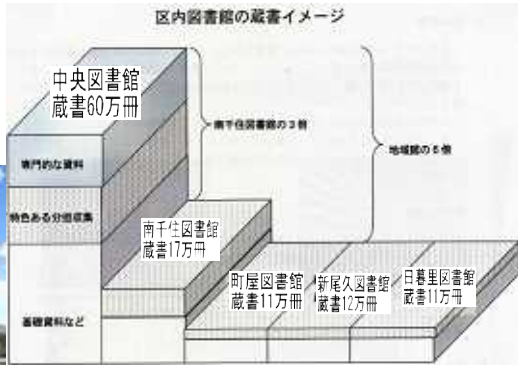
生活相談は、随時受付しています。
 TEL&FAX 3895-0504
 不在時は、留守電へ、後で連絡します。
 区役所控室 3802-4627

荒川区が「図書館の運営に関する基本的な考え方」を発表しました

これからの図書館は



ゆいの森（下）のメイン機能はやはり図書館だと思います...



議会論戦通じて「地域図書館」に光
歩いて通える図書館が魅力です...

「ゆいの森」が3月26日オープンします。複合施設・吉村昭記念文学館などは宣伝していますが、いちばん大事な役割は、何と云っても「中央図書館」機能にあると思います。しかし複合施設「ゆいの森」という言葉は出て、肝心の図書館機能について、特に地域図書館についての考え方は示されてきませ

んでした。高齢者から子どもまで歩いて通える各地域図書館の役割は、極めて重要です。利用状況を見ても南千住図書館の汐入サービスステーションでも、地域図書館と同程度の年間約20万点近くの個人貸し出しです。そのため中央図書館とともに各地域図書館の一層の充実が求められます。今回の「基本的な考え方」には、各館とも特色ある図書館として充実するとしています。ちなみに町屋図書館は、立地に合わせて、工業関係、自然環境関係、教育関係など蔵書の特徴を出すとしています。同時に首都大学東京の図書館との連携で医療、福祉、健康関係の蔵書など充実し、問題解決型の取り組みを進めるべきです。

リユールの計画をいま地域館は、変貌しています。荒川図書館は建て替えて中央図書館へ、尾久図書館は建て替え、日暮里は大規模改修などです。町屋は、今年度トイレのバリアフリー化が実現。しかしその後の計画はありません。都営住宅や保育園との合築でいろいろ困難もあります。が、書架の配置など含め利用者の声を生かした全面リニューアルを求めたいと思います。



利用状況	2015年度個人登録者数	2015年度個人貸出者数	2015年度入館者数	2015年度総個人貸出点数	中央図書館へ
荒川図書館	7,105人	83,679人	190,437人	238,109点	中央図書館へ
町屋図書館	6,766人	81,484人	134,104人	254,615点	築36年...?
南千住図書館	16,608人	174,331人	337,696人	528,425点	築18年
尾久図書館	7,466人	83,384人	157,499人	263,442点	建て替え
日暮里図書館	9,427人	119,667人	214,880人	321,890点	大規模改修

この他、2カ所の図書サービスステーションの個人貸し出し点数は、年間で汐入約19万点、冠新道約10万点をそれぞれ超えています。

日本の教師は「セブンイレブン」状態 医者も過酷...人間らしい働き方を

週60時間以上働く教師の割合が7〜8割に上っています。月の残業時間は、過労死ラインの80時間を超えます。連合総研調査ですが、医師の4割も含め、抜本的な解決が必要だと思えます。とりわけ教師の場合、この労働環境で一人一人の子どもの寄り添った教育ができるでしょうか? 「残業代ゼロ労働」など論外です。

小中学校教諭と医師の週あたりの労働時間

教諭は連合総研、医師は労働政策研究・研修機構調べ



住民税特別徴収通知書に従業員マイナンバー記載?

確定申告のマイナンバーは?

国民の理解がないままマイナンバー制度が動き出し、いろいろ混乱も発生。確定申告にマイナンバーが必須と思っている方もいますが、基本的には記載は任意とされ、税務署も「記載なし」で受け取っています。むしろ、マイナンバーを記入すると本人確認が大変なようです。

また、住民税の特別徴収の徹底が今回から始まり、各区が発送する住民税特別徴収通知書に従業員のマイナンバーを記載するかどうか、悩んでいる自治体が少なくないようです。個人情報大量に漏れたり、国民の収入・財産が国に丸ごと管理されそうな不安もあります。記載しない方向の区も多く、荒川区も慎重に検討しています。

記載して郵送する際は、簡易書留が特定記録郵便にすることも検討され、受取人が不在だと何度も配達が発生したり、役所への返送も発生し、事務経費もばかにならず、個人情報保護もやはり心配です。

区	マイナンバー
千代田区	検討中
中央区	検討中
港区	記載予定
新宿区	不明
文京区	検討中
台東区	検討中
墨田区	記載予定
江東区	検討中
品川区	記載予定
目黒区	検討中
大田区	記載予定
世田谷区	記載しない
渋谷区	検討中
中野区	記載しない
杉並区	その他
豊島区	検討中
北区	検討中
荒川区	検討中
板橋区	検討中
練馬区	記載予定
足立区	記載しない
葛飾区	記載しない
江戸川区	その他